



# 大久保小だより



平成30年8月28日第6号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子147名女子120名計267名

学校教育目標 **カいっぱい かしくく やさしく たくましく**  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

## 自分の身は自分で守る

### 校長 金子 要一

夏休みが終わりました。今日から2学期です。7月の「大久保小だより」と1学期の終業式で「夏休みに毎日取組めることを決め、やり続けましょう」という話をしました。どうですか？ できましたか？ もし、やり続けることができたのなら、それを今後も続けてみましょう。きっと自信につながり、力となるはずですよ。

さて、1学期の終わりに4年生は**大久保消防署に校外学習**に行きました。到着後、救急車の説明が始まろうとした矢先に**緊急要請**が入り、救急車は出動していきました。消防署は24時間休むことがないことを実感しました。それでも、普段見られない消防署や消防車の中を見ることができました。



また、消防署員さんの話から、さいたま市では**年間約400件の火災**があること、**救急車の出動は年間約6万7千回**で消防車の出動よりはるかに多いこと、

さらには、出動がない時、署員の方々はトレーニングをしているイメージがありますが、勤務の大半は書類作成などの事務仕事であることもわかりました。私たちの命を守ってくださる消防署員の方々の仕事や生活の一部を知る貴重な体験でした。

ところで、**9月1日は、「防災の日」**です。この日は、自然災害についての認識を深め、対処する心構えを準備するため、昭和35年（1960年）に制定されました。9月1日という日は、大正12年（1923年）9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した『関東大震災』に由来しています。

今年になり、今日現在、2つの大きな自然災害が発生しています。6月の震度6弱を記録した**大阪府北部地震**では、小学生がブロック塀の下敷きになりました。また、7月には**西日本豪雨**が起き、200名を超える死者・行方不明者を出し、平成最悪の豪雨被害となりました。あらためまして、災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

この西日本豪雨の際には「**大雨特別警報**」が発令されました。「**特別警報**」を調べると「**気象庁が発表する最大限の警戒の呼びかけ**。これまでの『**警報**』の発表基準をはるかに**超える災害**が予想され、該当地域で**数十年に1度**しかないような**非常に危険な状況**であることを知らせる。特別警報が出たら『**直ちに命を守る行動**』をとるよう気象庁は促している。」とありました。今ではテレビなどの速報で「直ちに命を守る行動をとってください」という緊迫感のあるアナウンスを聞くことがあります。

しかし、「数十年に1度しかない」**特別警報**は、**運用開始の2013年8月から今回で8回発令**されました。**5年間で8回**です。最近の様子から、**自然災害**は「いつ、どこで起きるかわからない」という考えから「**いつ起きてもおかしくない**」と認識を新たにすることがあるのかもしれない。

大規模な自然災害が起こるたびに、崖崩れや河川の氾濫など、社会の盲点が露呈します。自然災害をなくすことはできません。「**自分の身は自分で守る**」ことが必要です。「**どのような災害が起きたらどのような被害があるか**」という想像力を高め、日頃から身を守る準備を心掛けたいものです。各ご家庭でも、ぜひ、話し合い防災意識を高めてください。